

## 熊本大学学術リポジトリ

### Kumamoto University Repository System

Title	道くさ : 和歌 : 文苑
Author(s)	桃のや
Citation	龍南會雜誌, 78 : 109 - 109
Issue date	1900-05-05
Type	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2298/5551">http://hdl.handle.net/2298/5551</a>
Right	

神のみもとに集れる。  
我らの身こそ幸なれや。

水のはじめてわくかごと。

乳兒の初聲わぐごと、  
シオンの琴のひいくごと、  
赤き心の深底より。  
君歌はずや清き音に。

## 和歌

道くさ

桃のや

春されは花なき空もかすみつゝおほるなりけり夕月の影  
夕月の影おほるなる春の夜もにはひはえるし白梅の花  
春とはいへど山下風はさむかりき櫻は雪とちりみたれつゝ  
鏡山くもらぬ空の春風に眞帆あけて来る舟のゝどけさ  
あはらやのわらやの軒に花さきて人はかりねの夢のどかなり  
ところく紅桃白李の花もあり黄菜緑麥野にみちみちて  
古寺の庭の櫻はさかりにて大鼓はしのふちにかつらまけれり

## 漢文

### 值賀威一郎君墓碣銘

君值賀氏通稱威一郎肥後天草人祖諱某父名盛純即我汝水先生也明治庚辰先生應